

妙智會

2月14日本部供養会
本殿大講堂（ライブ配信）
宮本法嗣先生ご指導Vol. 91
2023. 2. 19
1/2

2月14日本部供養会でございます。本日もご参拝をいただきまして、誠にありがとうございます。

本日体験発表を頂いた青年部の方の、妙智の教えを信じ自分を振り返り、前向きに進んでいこうという姿勢。これこそが「修行」です。妙智の教えの素晴らしさを教えてもらいました。本当にありがとうございました。

今トルコが大地震で大変な状況ですが、今回の地震で亡くなられた方たちに対するご供養と、残された方たちに対する心が少しでも落ち着かれるように、私自身もご修行をさせていただいております。皆さんもぜひ今日から、トルコ大地震に対するご供養をしっかりとしていただきたいと、強く願っています。

先日のご供養会の中で、コロナに関してお話したかと思いますが、その中で「会主さまのご法名は素晴らしい。それをきちんと実行すれば、因縁というのは変わるのですよ。」と申しあげました。そして「3月の春の大法要の前にも因縁が変わるかもしれません」と申しあげました。

皆さんも既にご存知のように、5月の予定が、3月13日からマスクはしなくていいということになりました。妙智會の教えというのはこういうものだということを、今回のことでまた心に強くいただいたと思います。

きちんと会主さまのご法名をもとに順序すれば、早く結果が出るのが妙智會なのです。妙智會の教えというのは、正しく行えば結果が早いのです。会主様はこういうことを見せて、信用していない人に信用させるご努力をしてくださっているのだと思います。

会主さまは会員の皆さんのことを、「『テコ』でも動かない」とおっしゃっていました。「テコ」で動かないのは、自分が立とうとしないからです。私は皆さんには自分から立って信じて、この妙智の道を自分から歩いてもらいたいと思います。そして春の大法要を迎えたいと、強く願っています。

やれば結果が出るのが妙智會です。ですから会主さまは「行いなさい」とおっしゃったのですが、毎日朝夕、きちんとお経を上げるという尊くも当たり前のことを、私たちはやっていません。これをしてしなければ「結果を出す」という妙智會の素晴らしいものを、皆さん自身がいただけなくなってしまうです。

会主さまのご法名を強く生かすためには、我々妙智会員一人一人が会主さまのご指導を「守り」「保ち」「行う」のです。皆さん自身が先祖を集めて、お経を上げ、お導きすることが、自分や自分の家だけではなく、みんなを救うことになるのです。

大導師はよく「異体同心」とおっしゃいました。この度のトルコ大地震と同じで「何とかしてあげたい。」と思うのが「佛」です。これが会主さまのおっしゃった「心」であり妙智會の原点です。私たちが朝夕きちんとお経を上げお導きをすることによって、全ての信者さんが救えるのです。

会ったことも縁もない人でも、妙智会員の私達がきちんと「行」をすれば、全ての信者さんに「結果」が出るのです。我々は妙智会員同士であり、みんなを救わなくして妙智會ではありません。

会主さまの教えを1人1人が行うことによって、自分だけではなくみんなが救われるということを本日申し上げました。どうぞしっかりとご修行をお願いいたします。ありがとうございました。